

会社名 EIZO株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証第一部)
問合せ先 総務部長 比良 浄敬
電話番号 076(275)4121

電子回路基板製造の基幹工場 新工場棟竣工のお知らせ

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、グループ会社であるEIZOエムエス株式会社(本社:石川県羽咋市)の本社・羽咋工場において、新工場棟が本日竣工しましたのでお知らせします。

羽咋工場では、EIZOグループで生産する映像機器の心臓部である電子回路基板の90%以上を高い品質で生産しています。

このたびの新工場棟増築及び今後の生産設備の増設により、羽咋工場の生産能力を向上させることで、EIZOグループが注力しているヘルスケア市場や産業市場における需要の増加に対応し、ビジネスを拡大してまいります。

1.新工場棟増築の効果

①生産スペースの拡大と生産体制の効率化:

新工場棟の増築により、羽咋工場の生産スペースが約60%拡張されます。また、新工場棟は隣接する既設の工場棟(延床面積10,080㎡、鉄骨地上2階建て)と直接接続しており、両工場全体の生産体制の効率化を図るとともに、今後の増産に柔軟に対応できる生産・物流スペースを確保しました。

②自動化設備の導入による生産性向上:

現在、完成品工場であるEIZO株式会社本社工場及びEIZOエムエス株式会社七尾工場で組立作業や動作検査を行っていますが、羽咋工場に自動化設備を導入することで、これら工程の一部を同工場に取り込みます。これにより、基板生産から完成品までの製造プロセス全体での生産性向上を図ります。

③福利厚生施設の充実:

食堂や休憩ラウンジ、休養室などの拡充を図りました。

2.新工場棟の概要

- (1)所在地:石川県羽咋市寺家町レ37番地9
- (2)建屋概要:延床面積 約5,600㎡ 鉄骨地上3階建て
- (3)主な用途:生産ライン、倉庫、食堂
- (4)主な生産製品:電子回路基板
- (5)工期:着工2019年12月、竣工2020年10月
- (6)新工場稼働開始予定:2020年11月(現工場改修完了予定:2021年1月)
- (7)投資金額:約28億円(新工場建設費、現工場改修費、生産設備増設)

3.新工場棟外観



以上